



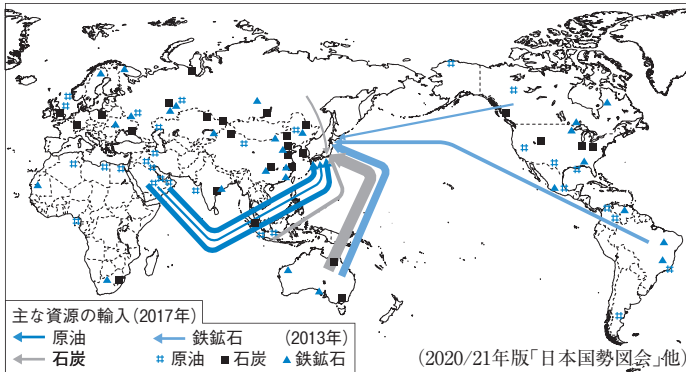
単元 5

日本の特色と地域区分(4) 資源・エネルギー・産業・結びつき



教科書
P.166～171

学習のまとめ



▲A世界の鉄産資源の分布・日本の鉄産資源の輸入の流れ

1 資源・エネルギー(図表のワーク①～⑧)教科書P.166・167

(1) 資源…日本は多くの資源を輸入している。近年は、シェールガスやメタンハイドレートなどが注目される。

(2) 限りある資源…人口増加・経済発展により世界全体の資源・エネルギーの消費量は増え続け、地球

温暖化が進む→持続可能な社会の実現が課題。
将来の世を考え、資源の有効活用、環境保全と経済の発展を両立させる

(3) 発電方式と問題…電力利用が増加。日本の発電方式は水力発電から火力発電へと変化。石油
地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出
危機をきっかけに、原子力発電も増加→2011年の東日本大震災で一時運転停止。

(4) 再生可能エネルギー…太陽光、風力、水力、地熱・太陽熱やバイオマスなど。発電量の安定性や費用などが課題。

2 産業活動(図表のワーク⑨～⑯)教科書P.168・169

(1) 第一次産業…農業など。日本は小規模経営。貿易の自由化が進み、日本の農業は厳しい状況。第一次産業人口の減少や後継者不足。

(2) 第二次産業…工業など。日本の工業は太平洋ベルトに集中。現在は内陸部にも工場が進出。

貿易摩擦を避けるため海外で生産する企業が増えるなどして、国内の工業が衰退(産業の空洞化)。

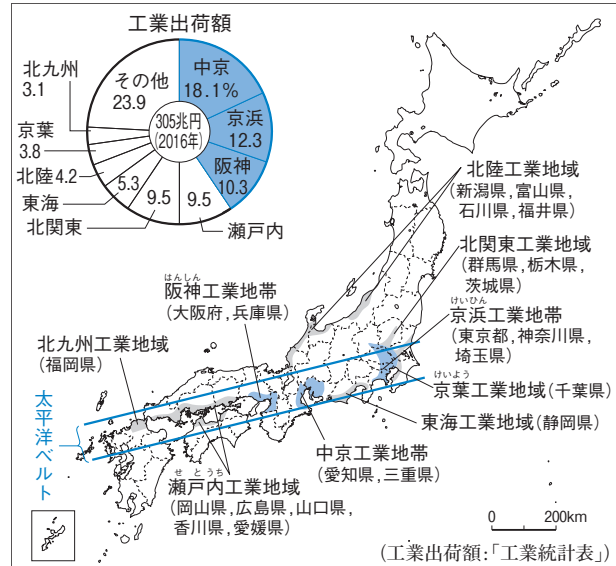
(3) 第三次産業…商業、サービス業など。日本の現在の就業者人口では、第三次産業が7割を占める。東京への産業と人口の集中が進む(一極集中)。

3 交通・通信による結びつき(図表のワーク⑰～⑳)教科書P.170・171

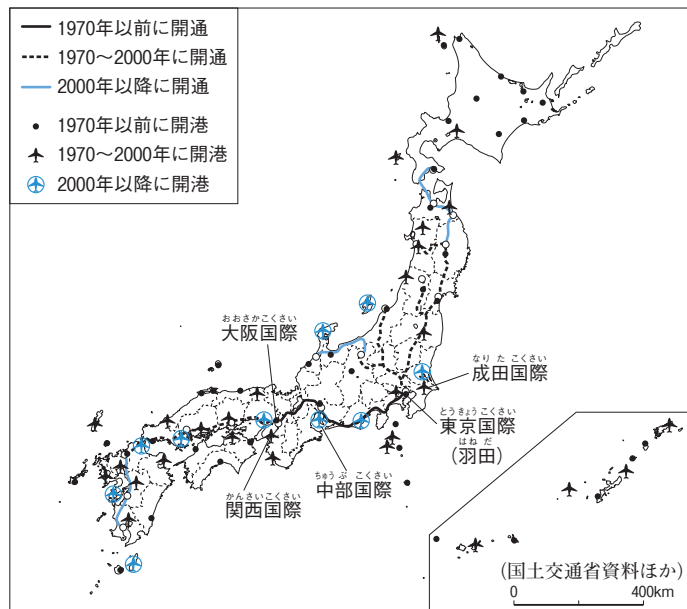
(1) 国境を越えて行き来する人やもの…航空交通や海上交通を利用。日本は世界の国々と貿易を行っている。東京国際(羽田)空港や成田国際空港は、ハブ空港としての役割をめぐり、他の空港と競争。

(2) 日本国内の交通網…高度経済成長期以降、新幹線・高速道路・空港などの高速交通網を整備。その後、東
現在の貨物輸送は主にトラック
北地方や九州地方に高速道路が整備され、インターチェンジや空港の近くに工業団地がつくられた。

(3) 行き交う情報…情報通信技術(ICT)が発達。海外との通信は、海底通信ケーブルや通信衛星を利用。



▲B日本の主な工業地帯・地域と出荷額の割合



▲C日本の高速交通網の移り変わり

☑ 図表のワーク

学習のまとめを見て
図表を完成させよう

日本の主な発電所

内陸の山地に多い

① 発電所

安全性の課題が多い

② 発電所

1970年代の③

をきっかけに利用が増える

2011年の

④
で運転を一時停止

太陽の光を利用するのは

⑤ 発電

⑥ 発電所

⑦ の原因
となる二酸化炭素を多く排出

①・⑤は自然界に存在する

⑧

△ 地熱発電所
○ 風力発電所

日本の産業

工業は第⑨ 次産業の一つ

大阪府・兵庫県に発達した

⑩ 工業地帯

やはた
八幡製鉄所を中心に

発達した⑪ 工業地域

関東地方の太平洋側から
九州北部に広がる

⑫

北陸工業地域

瀬戸内
工業地域

京葉工業地域

東海工業地域

内陸部に広がる

⑬ 工業地域

東京都・神奈川県などに発達
した⑭ 工業地帯

工業製品の出荷額が最大の

⑮ 工業地帯

現在、日本の就業人口は
第⑯ 次産業が
7割を占める

日本の交通

新幹線・空港などの

⑰

の移り変わり

現在の貨物輸送は、

⑱ が
主である

— 1970年以前に開通
--- 1970～2000年に開通
— 2000年以降に開通
● 1970年以前に開港
✈ 1970～2000年に開港
⊕ 2000年以降に開港

高速道路や空港の近くに

⑲ がつくられている

⑳ 空港

㉑ 空港

㉒や㉑は ㉒ 空港としての
役割を持つ

(国土交通省資料ほか)

確認問題

→類題演習 P.113

① 資源・エネルギー 次の問いに答えなさい。

- ☐ (1) 資源やエネルギーの大量生産や消費により起きている環境問題は何か。 ()
- ☐ (2) 未来の社会を考えて、資源を有効利用しながら、環境保全と経済発展を両立させる社会を何というか。 ()
- ☐ (3) 山間部にダムをつくり、水が落ちる力を利用する発電方法を何というか。 ()
- ☐ (4) 原油や石炭、天然ガスを燃やした熱を利用する発電方法を何というか。 ()
- ☐ (5) ウランなどを燃料とし、核分裂で発生する熱を利用する発電方法を何というか。 ()
- ☐ (6) (5)の発電量が増えるきっかけとなった1970年代のできごとを何というか。 ()
- ☐ (7) (5)の安全性が問題視されるようになった、2011年3月に起こった災害は何か。 ()
- ☐ (8) 太陽光や風力など資源が枯れることなく環境を汚さないエネルギーを何というか。 ()
- ☐ (9) 植物や生物をもとにしてつくられたエネルギー源を何というか。 ()

② 産業活動 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- ☐ (1) 農業や漁業など、自然にはたらしかけて行う産業活動を□産業という。 ()
- ☐ (2) 関税や輸入の制限などをやめて、自由な貿易を行うようにすることを、貿易の□という。 ()
- ☐ (3) 工業など、原材料を加工した製品をつくる産業を□産業という。 ()
- ☐ (4) 貿易を行う二国の間に生じる様々な問題のことを□という。 ()
- ☐ (5) 関東地方の太平洋側から九州地方北部にかけて、工業地帯(地域)が集中しているところを□という。 ()
- ☐ (6) 東京都・神奈川県・埼玉県に広がる工業地帯を□という。 ()
- ☐ (7) 愛知県・三重県に広がる工業地帯を□という。 ()
- ☐ (8) 大阪府・兵庫県に広がる工業地帯を□という。 ()
- ☐ (9) 瀬戸内海の沿岸に広がる工業地域を□という。 ()
- ☐ (10) 海外へ工場を移転することにより、国内の工場数や工業で働く人の数が減ることを産業の□という。 ()
- ☐ (11) 商業やサービス業など、(1)・(3)に分類されない産業を□産業という。 ()

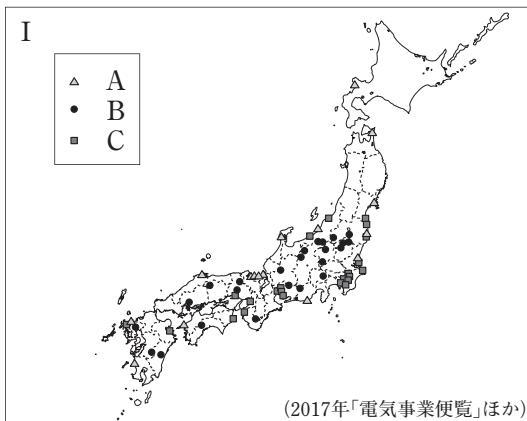
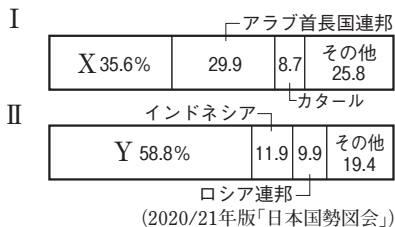
③ 交通・通信による結びつき 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- ☐ (1) 日本と世界は、航空機を利用した□①交通や、船舶を利用した□②交通で結びついている。
□ ①() ②()
- ☐ (2) 航空機どうしの乗り継ぎのための拠点としての役割を持つ空港を□空港という。 ()
- ☐ (3) 千葉県にある□国際空港は、(2)空港の1つである。 ()
- ☐ (4) 工場を集团的・計画的に進出させるためにつくられた地区を、□団地という。 ()
- ☐ (5) 交通手段や情報通信技術(□)の発達により、現在では人やものの移動や情報のやりとりが活発になっている。 ()

練習問題

1 右の地図やグラフを見て、次の問いに答えなさい。

- ☐ (1) 次のグラフ I は日本の原油の輸入先、グラフ II は石炭の輸入先を示している。グラフの X・Y にあてはまる国名を答えなさい。



- ☐ (2) 地図 I 中の A～C の発電所の種類をそれぞれ答えなさい。

- ☐ (3) 日本が資源を輸入に頼る理由として、あてはまらないものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本での採掘が難しいから。

イ 日本での採掘は採算が合わないから。

ウ 日本での採掘量が十分多いから。

- ☐ (4) 地図 II 中の D～G の工業地帯・工業地域名を、それぞれ答えなさい。

- ☐ (5) 工業が盛んな地域が集中している、地図 II 中の X を何というか。

- ☐ (6) 次のア～オを①第一次産業、②第二次産業、③第三次産業に分類しなさい。

☐ ア 商業 イ 通信業 ウ 農業 エ 工業 オ 林業

2 次の問いに答えなさい。

- ☐ (1) 情報通信技術の略称をアルファベット 3 字で答えなさい。

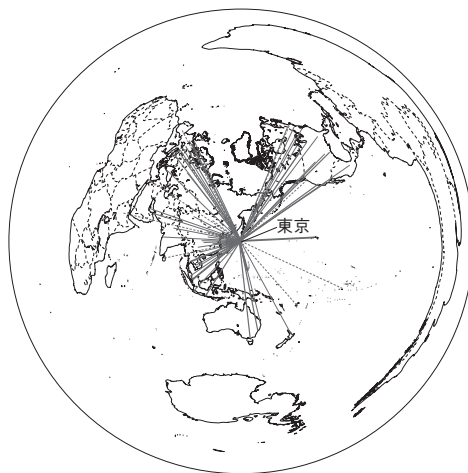
- ☐ (2) 右の図は東京国際空港(羽田空港)発着の主な定期航空便の就航先を示している。日本との航空路線が発達している地域を、次から 3 つ選び、記号で答えなさい。

ア アフリカ イ ヨーロッパ

ウ 北アメリカ エ 南アメリカ

オ オセアニア

- ☐ (3) 日本の高速交通網は、航空路線・新幹線とあと 1 つは何か。



1 学習のまとめ ①・②

(1) X

Y

(2) A

B

C

(3)

(4) D

E

F

G

(5)

(6) ①

②

③

2 学習のまとめ ③

(1)

(2)

(3)

Key プラス

1 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 発電所の立地場所について、次の文にあてはまる発電所をそれぞれ答えなさい。

☐ ① 大量の冷却水を必要とし、比較的人口が少ない地域の沿岸部に立地する。

☐ ② ダムをつくりやすい山間部の河川の上流に立地する。

☐ ③ 電力需要が高い都市周辺で、燃料を輸送しやすい臨海部に立地する。

☐ (2) 図Ⅰは、日本、中国、ドイツ、ブラジル、フランスの各国の発電エネルギー源別の割合を示している。①ブラジルと②フランス

にあてはまるグラフを図Ⅰ中のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

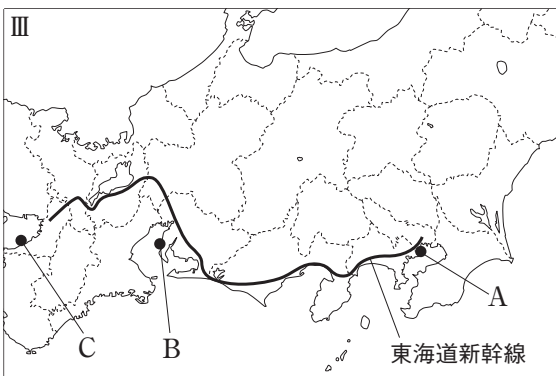
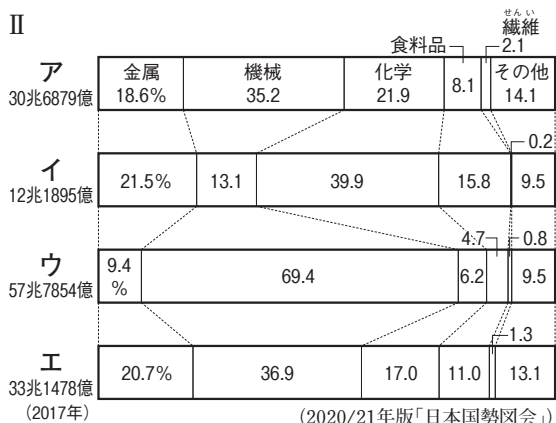
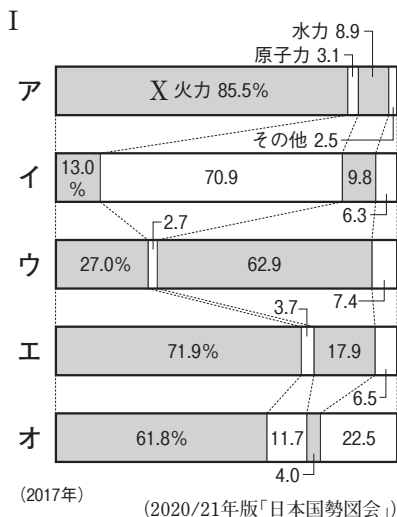
☐ (3) 図Ⅰ中のXなどのエネルギーの生産や消費は、二酸化炭素を多く排出するため、ある環境問題の原因となっている。この環境問題を何というか。

☐ (4) 図Ⅱ中のア～エは、阪神工業地帯・中京工業地帯・京葉工業地域・瀬戸内工業地域のいずれかの工業出荷額の内訳を示している。①中京工業地帯、②京葉工業地域にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

☐ (5) 近年、日本の企業は海外へ工場を移転し、現地生産するようになったが、それにより日本国内の工場数や工場で働く人が減ってきている。このことを何というか。

☐ (6) 図Ⅲは、東海道新幹線のルートを示しており、東海道新幹線が通っている県には、日本の窓口になっている空港がある。図Ⅲ中のA～Cにあてはまる空港の名を、それぞれ答えなさい。

☐ (7) 過疎地域の交通の変化について、「路線バス」「便数」の語句を使って説明しなさい。



1の答え

(1) ①

②

③

(2) ①

②

(3)

(4) ①

②

(5)

(6) A

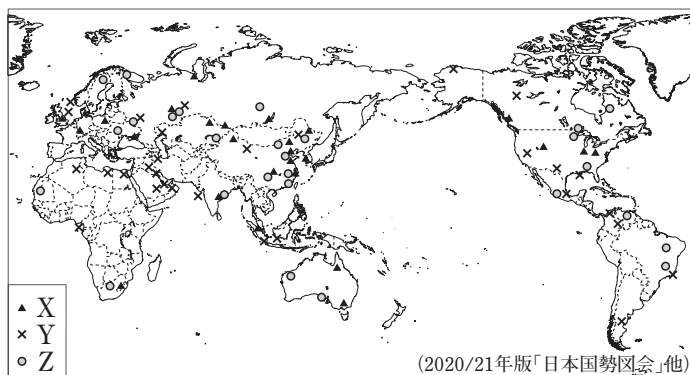
B

C

(7)

ここで得点アップ!

1 左の地図や資料を見て、問いに答えなさい。



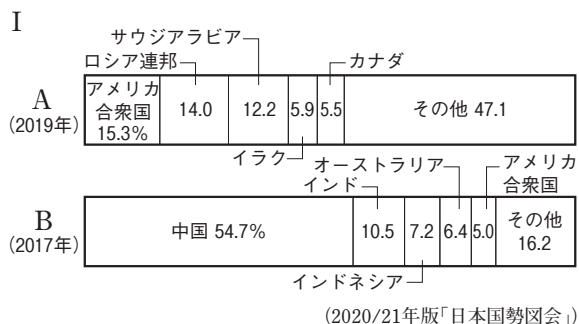
(1) 地図中のX～Zは、鉱産資源の分布を示している。X～Zにあてはまる鉱産資源をあとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□X() □Y() □Z()

ア 石炭 イ ポークサイト

ウ 鉄鉱石 エ 原油

(2) グラフI中のA・Bは、ある資源の国別生産割合を示している。これについて、次の問いに答えなさい。



① A・Bにあてはまる資源を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□A() □B()

ア 原油 イ 石炭 ウ 鉄鉱石

② 日本がAの資源、Bの資源を最も多く輸入している国を、グラフI中からそれぞれ選んで答えなさい。

□A() □B()

(3) グラフIIは、日本の輸出品と輸入品の変化を示している。グラフII中のC～Fにあてはまる品目をあとからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□C() □D()

□E() □F()

ア 食料品 イ 原油

ウ 機械類 エ 繊維・繊維製品

(4) グラフIIIは、日本の産業別人口の構成の割合の変化を示している。グラフIII中のGとHで囲んだ箇所の変化の理由として考えられることを、Gは「輸入」、Hは「海外」の語句を使って、それぞれ答えなさい。

□G()

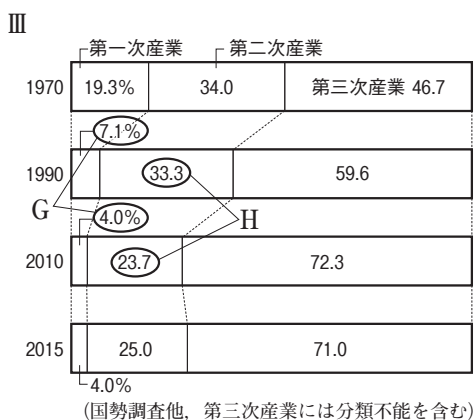
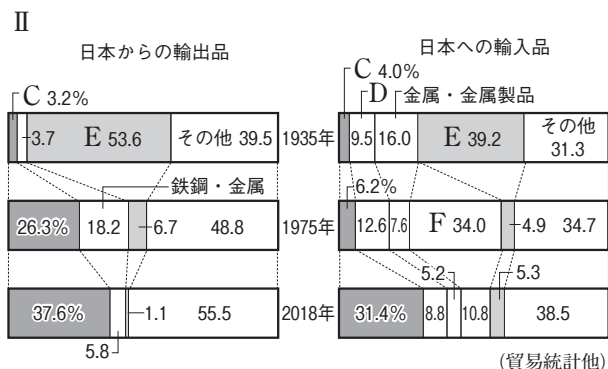
□H()

(5) 火力発電の問題点を、「地球温暖化」の語句を使って、簡単に説明しなさい。

□()

(6) 再生可能エネルギーを使った発電の問題点を、「発電量」と「費用」の語句を使って、簡単に説明しなさい。

□()



定期テスト対策

Ⅲ 標準編 Ⅲ

単元4 日本の特色と地域区分(3) 人口
単元5 日本の特色と地域区分(4) 資源・エネルギー・産業・結びつき

得点

／100点

教科書 P.162～171

実施時間のめやす⇒25分

1 右の、都道府県別の高齢者の割合を示した地図を見て、次の問いに答えなさい。

⇒教科書P.162～165

(各5点)

□(1) 65歳以上の人口の割合が28%未満の都道府県はいくつあるか。

数字で答えなさい。()

□(2) 人口に占める高齢者の割合が増加していくことを何というか。

()

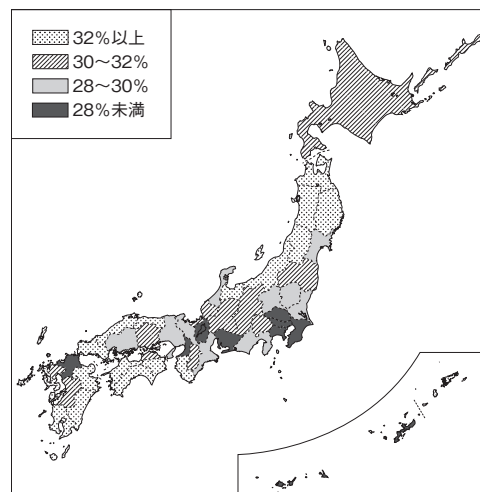
□(3) 65歳以上の人口の割合が高い地域では、著しく人口の減少が進んでいる。このような現象を何というか。

()

□(4) (3)が進む地域で発生する問題として誤っているものを、次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 仕事の機会が減る。 イ 公共施設が統合される。
ウ 鉄道・バスが減便される。 エ ごみ処理施設が不足する。

()



(2019年)

(総務省)

2 右の資料Ⅰ～Ⅲを見て、次の問いに答えなさい。⇒教科書P.166～167

(各4点)

□(1) 資料Ⅰ中のA～Cにあてはまる鉱産資源の組み合わせとして正しいものを、次のア～カから

選び、記号で答えなさい。

ア A－鉄鉱石 B－石炭 C－石油
イ A－鉄鉱石 B－石油 C－石炭
ウ A－石油 B－石炭 C－鉄鉱石
エ A－石油 B－鉄鉱石 C－石炭
オ A－石炭 B－石油 C－鉄鉱石
カ A－石炭 B－鉄鉱石 C－石油

()

A	カタール			
	サウジアラビア 35.6%	アラブ首長国連邦 29.9	8.7	その他 25.8
B	インドネシア			
	オーストラリア 58.8%	11.9	ロシア 9.9	その他 19.4
C	カナダ			
	オーストラリア 51.6%	ブラジル 28.2	7.7	その他 12.5

(2019年)

(2020/21年版「日本国勢図会」)

Ⅱ 日本のエネルギー供給の割合

水力3.5			
X 37.6%	Y 25.1	Z 22.9	その他 8.1
原子力2.8			

(2018年)

(2020/21年版「日本国勢図会」)

(2) 資料Ⅱについて、次の問いに答えなさい。

□① 資料Ⅱ中のXにあてはまるものを、次から選び、記号で答えなさい。

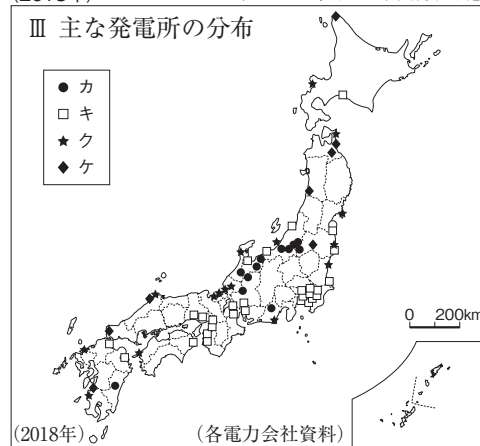
ア 太陽光 イ 石炭 ウ 天然ガス エ 石油

()

□② 資料Ⅱ中のX～Zを燃やすことで発生する、地球温暖化の原因の1つとなる気体を、次から選び、記号で答えなさい。また、X～Zなどを燃やしてエネルギーを得る火力発電の発電所の分布を、資料Ⅲ中のカ～ケから選び、記号で答えなさい。

ア 二酸化炭素 イ 酸素 ウ 水素

気体() 発電所()



(2018年)

(各電力会社資料)

3 日本の産業について、次の問いに答えなさい。⇨教科書P.168～169

((3)完答、各4点)

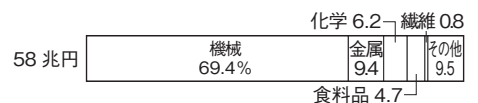
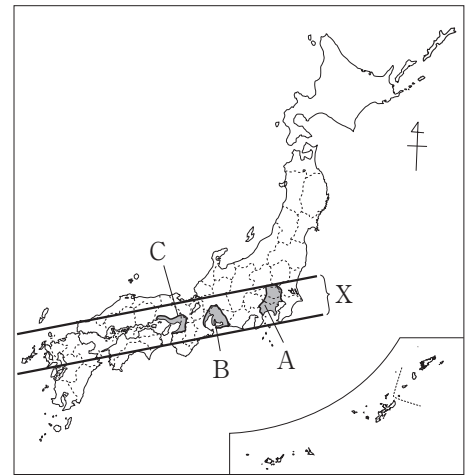
(1) 第一次産業について、次の文を読んであとの問いに答えなさい。

第一次産業は、人間が自然に直接はたらきかけて行う生産活動である。主なものには、米の生産や畜産などを行う^{さん} **あ**がある。日本の^{とくちゅう} **あ**の特徴としては、小規模な経営を行っていることがあげられる。輸出入時にかかる関税などの制限をやめる、貿易の^い **い**化が進むと、経営がきびしくなる。このほかにも^か **あ**様々な課題を抱えている。

- ☐① **あ**に共通してあてはまる語句を答えなさい。 ()
- ☐② **い**にあてはまる語句を答えなさい。 ()
- ☐③ 下線部^④にあてはまるものを次から2つ選び、記号で答えなさい。 () ()
- ☐ **ア** 後継者不足 **イ** 働く人の都市部への集中 **ウ** 働く人の減少
- ☐④ 第一次産業に含まれる、魚介類をつかまえたり、養殖を行ったりする産業を何というか。 ()

(2) 第二次産業について、次の問いに答えなさい。

- ☐① 右の地図中のXには、工業地域・地帯が带状につらなっている。この地域を何というか。 ()
- ☐② 右の地図中のA～Cの工業地帯の名を、それぞれ答えなさい。
- ☐ **A** () **B** ()
- ☐ **C** ()
- ☐③ 右下のグラフは、A～Cのいずれかの工業地帯の品目別製造品出荷額の割合を示している。グラフにあてはまる工業地帯を、A～Cから選び、記号で答えなさい。 ()
- ☐④ 近年、生産費用の安いアジアなどの国へ工場を移転する企業が増加し、国内の工場数や工場働く人が減っている。このような現象を何というか。 ()



☐ (3) 第三次産業にあてはまるものを、次からすべて選び、記号で答えなさい。 (2017年) (2020/21年版「日本国勢図会」)

- ア** 商業 **イ** 林業 **ウ** 建設業 **エ** 鉱業 **オ** サービス業 ()

4 交通・通信による結びつきについて、次の問いに答えなさい。⇨教科書P.170～171 ((1)①・②各完答、各4点)

☐ (1) 次の〔 〕内の国際貨物は、おもに①航空輸送、②海上輸送のどちらで運ばれるか。2つの輸送方法に分けて答えなさい。

〔 電子部品 自動車 生花 原油 鉄鉱石 野菜 〕

- ① ()
- ② ()

☐ (2) 日本の交通網の高速化により、国内の地域間の移動に要する時間は、大幅に短縮された。日本の高速交通網は、航空路・新幹線と、あと1つは何か。 ()

☐ (3) インターネットなどの情報通信技術()の発達により、情報のやり取りが活発化した。 にあてはまる語句をアルファベット3字で答えなさい。 ()

定期テスト対策

Ⅲ 応用編 Ⅲ

単元4 日本の特色と地域区分(3) 人口

単元5 日本の特色と地域区分(4) 資源・エネルギー・産業・結びつき

得点

／100点

教科書 P.162～171

実施時間のめやす⇒30分

1 右のグラフは、4都府県の過密地と過疎地の割合を示している。グラフを見て、次の問いに答えなさい。

⇒教科書P.162～165

((1)完答, (1)5点, 他各6点)

□(1) グラフ中の4都府県のうち、高齢化が進み人口が減少

していると考えられる都府県をすべて選び、答えなさい。秋 田

()

□(2) グラフ中の4都府県は、いずれも少子化が進んでいる。東 京

少子化への対策として求められていることを、「子育て」

という語句を用いて、簡単に書きなさい。

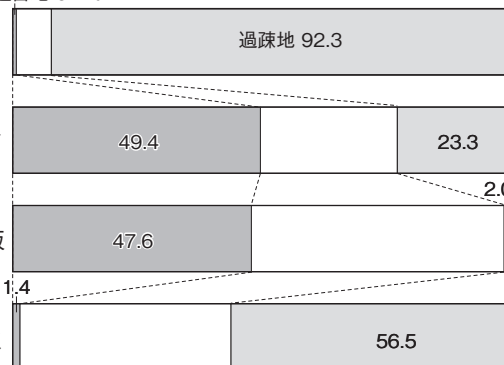
()

□(3) 日本の人口は、どのような地形に多く分布しているか。(2015年)

簡単に書きなさい。

()

過密地 0.7%



(2020年版「データでみる県勢」)

2 右の表は、日本の発電電力量の移り変わりを示している。表を見て、次の問いに答えなさい。

⇒教科書P.166～167

(各4点)

(1) 次の①～③に多く立地している発電所を、表中の ア～カ からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□① 大都市周辺の沿岸部 ()

□② 内陸の山間部 ()

□③ 火山や温泉地の近く ()

□(2) 水力発電や太陽光発電、風力発電、地熱発電など、環境にやさしく、くりかえし使用できるエネルギーの総称を答えなさい。

()

	1980年	2000年	2018年
<u>ア</u> 水力	92092	96817	87398
<u>イ</u> 火力	401967	669177	823589
<u>ウ</u> 原子力	82591	322050	62109
<u>エ</u> 太陽光	—	—	18478
<u>オ</u> 風力	—	109	6493
<u>カ</u> 地熱	871	3348	2113
合計	577521	1091500	1000409

(単位：百万kWh)

(2020/21年版「日本国勢図会」)

□(3) 2000年から2018年の間に、原子力発電の発電量が大きく減少している。この原因となった、2011年3月11日に発生した地震による災害を何というか。また、この災害で発生した原子力発電の問題点を、簡単に書きなさい。

災害()

問題点()

□(4) 表から読み取れることとして正しいものを、次から選び、記号で答えなさい。

ア 水力発電の発電量は、減少し続けている。

イ 火力発電の発電量は、1980年と比べて2018年には2倍以上になった。

ウ 地熱発電の発電量が最も多いのは、2018年である。

エ 日本の2018年の発電量の合計は、1980年と比べて500000百万kWh以上増加した。

()

3 次の問いに答えなさい。⇨教科書P.168～169

(各5点)

(1) 右の地図中の北海道について、次の問いに答えなさい。

□① 北海道では酪農や畑作などの農業が盛んである。農業は第何次産業に含まれるか。()

□② 北海道では、農業の魅力を伝える農業体験が行われている。これは農業の抱えるどのような課題を解消するために行われていると考えられるか、「後継者」の語句を用いて、簡単に書きなさい。

()

□③ 北海道からは、様々な農産物が輸出されている。輸出入時にものやサービスにかかる税を何というか。

()

□(2) 地図中のXの臨海部に多くの重化学工業の大工場が立地している理由を、「原材料」と「製品」という語句を用いて、簡単に書きなさい。

()

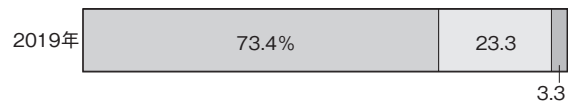
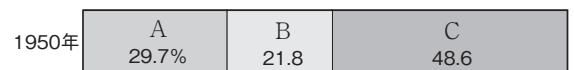
□(3) 近年、内陸部の高速道路沿いでは機械工業が盛んである。高速道路沿いに工場を建設する利点を、簡単に書きなさい。

()

□(4) 右上のグラフは、日本の産業別人口割合の移り変わりを

示しており、グラフ中のA～Cには、第一次産業、第二次産業、第三次産業のいずれかがあてはまる。それぞれの産業にあてはまるものを、A～Cから選び、記号で答えなさい。

第一次産業() 第二次産業() 第三次産業()



(総務省資料)

4 次の問いに答えなさい。⇨教科書P.170～171

(各5点)

□(1) 右の資料Ⅰは、日本に在留する外国人の国別割合を示している。世界の6つの州のうち、日本に在留する割合が高いのはどの州の出身者か。()

□(2) 右の資料Ⅱは、訪日外国人数と日本人の出国者数の移り変わりを示している。近年、訪日外国人数が急激に増加した理由を、「東アジア」という語句を用いて、簡単に書きなさい。

()

□(3) 近年の情報通信技術(ICT)の発達によって、離島や山間部ではどのような医療が可能になったと考えられるか。「遠隔地」という語句を用いて、簡単に書きなさい。

()

